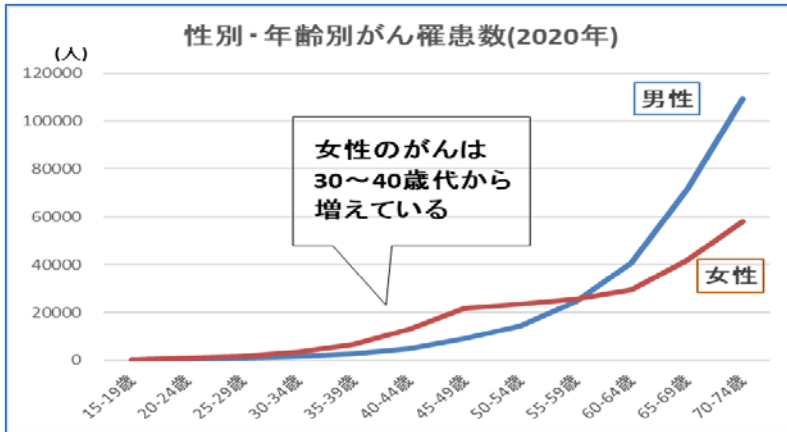


# 受けましょう がん検診

## 「がん」は誰でもなる可能性がある

日本人男性の3人に2人、女性の2人に1人はがんにかかります。

とくに女性は若い年代でがんになる方が多く、子宮頸がんは20代後半から、乳がんは30代から発症が増えます。



出典：国立がん研究センター

### がんに関する情報を知りたいとき

●がん情報ポータルサイト「がん情報しが」(滋賀県のホームページ)



●がん情報サービス(国立がん研究センター)



健康づくり財団ではInstagramで各種検診や健康づくりをサポートする内容を発信しています。

jcancerjp\_shiga

## がんの経過

### がん細胞



(10~20年)

がん細胞は症状のないまま増え続けます。

### 早期がん



1 cm

(1~2年)

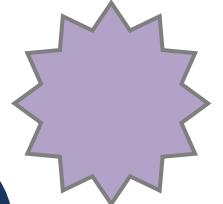


2 cm

ここで発見!

定期的ながん検診

### 進行がん



がん細胞が急激に増殖

自覚症状がない状態

自覚症状が現れる

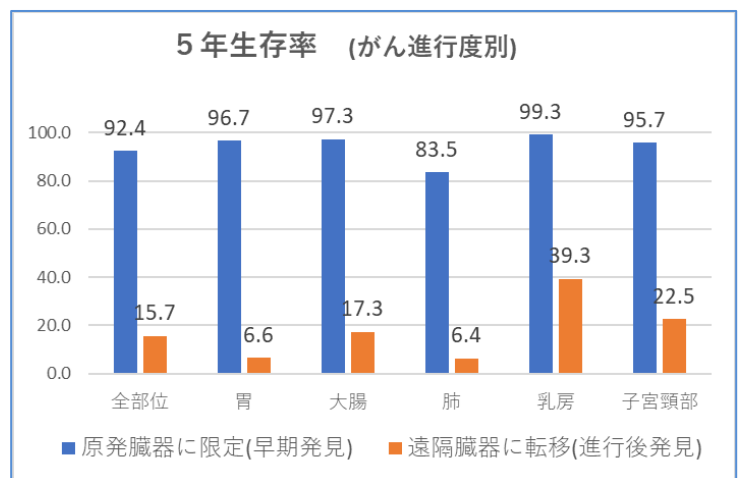
資料：日本対がん協会「がん読本」

## 早く見つけるには「がん検診」が大切

5年生存率が100%に近いほど治療で命を救えるがんということです。

がんは早く見つけると90%以上治るようになってきました。

早期には痛みなどの症状がないので定期的な「がん検診」が大切です。



出典：国立がん研究センター

# 本当に効果がある「がん検診」を受けましょう

利益(メリット)が不利益(デメリット)を上回り、がんの死亡率を減らすことができると認められた「がん検診」は、胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がんの5つです。

検診の種類	対象者	受診間隔	主な検査方法
<b>胃がん</b> 	50歳以上	2年に1回	<b>胃カメラ検査</b> ・口、または鼻から内視鏡を挿入し、直接胃の内部を観察する検査です。 <b>胃エックス線検査</b> ・バリウムを飲んで、胃のエックス線写真を撮ります。
<b>大腸がん</b> 	40歳以上	年1回	<b>便潜血検査</b> ・自宅で2日分の便をとって提出します。 ・便に血が含まれていないかどうかを検査します。
<b>肺がん</b> 	40歳以上	年1回	<b>胸部エックス線検査</b> ・肺のエックス線写真を撮ります。 <b>喀痰細胞診(痰の検査)</b> ・痰の中にがん細胞が入っていないかどうかを調べる検査です。
<b>乳がん</b> 	40歳以上	2年に1回	<b>マンモグラフィ(乳房エックス線検査)</b> ・専用の装置(マンモグラフィ)により、乳房のエックス線写真を撮ります。
<b>子宮頸がん</b> 	20歳以上	2年に1回	<b>子宮頸部の細胞診検査</b> ・子宮の頸部(入口)を専用の器具で擦って細胞をとり、異常な細胞がないか、顕微鏡で調べます。

## がん検診の利益(メリット)と不利益(デメリット)

### 利益(メリット)

#### ● 早期のがんを発見できる

早期であれば治せる可能性が高く、治療も軽くすむことが多いので、身体的負担、経済的負担は少なくてすむ

#### ● がんによる死亡を防ぐ

早期発見、早期治療による救命が可能。早期発見の場合と、自覚症状が出てから発見された場合とでは5年後の生存率に差が出る

#### ● がん以外の病気も見つけて、治療に結び付けられる

がんになる前段階のポリープや潰瘍、異型上皮などが見つかることもある。経過を観察して必要に応じて治療することで、がんになるのを防ぐことができる。

### 不利益(デメリット)

#### ● がんが100%見つかるわけではない

がんの場所や種類によっては見つけづらいことがある。1回の検診で確実に見つかるとは限らないので、定期的に受け続けることが大切

#### ● 検査によって身体に負担がかかってしまう

X線検査で使うバリウムによる便秘など

#### ● 不必要な検査、治療を受けてしまう可能性がある

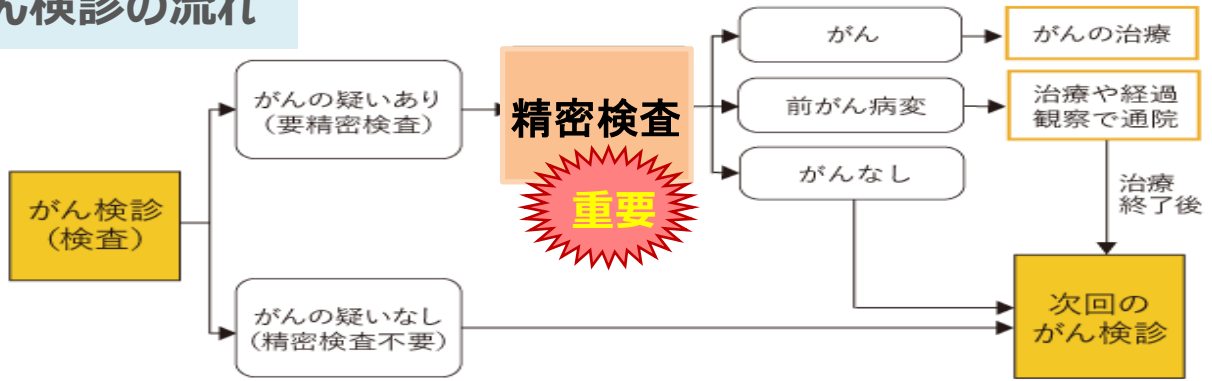
実際にはがんがないのに、がんの疑いがあると判定され、本来受ける必要のない精密検査で負担がかかる。

検診で見つかるがんには、その後進行がんにならず、生命に影響しないがんもある。治療が本来不要だった可能性もある。

## 適切な年齢で、根拠のあるがん検診を受けましょう

高性能の検査機器などを使った検査はがんの再発や転移を調べるには重要ですが、がん検診としての効果(がん死亡を減らす効果が確実、利益が不利益を上回る)は認められていません。また、検査が異常値の場合、どうすればよいかが明確ではありません。

# がん検診の流れ



## がん検診で、「要精密検査」と言われたら、必ず受診する

- 医療機関でより詳しい検査を受け、本当にがんがあるかを調べる必要があります。
- 「症状がない」「健康だから」といった理由で精密検査を受けないと、もしがんがあった場合、診断が遅れ、がんが進行してしまう恐れがあります。必ず受けてください。
- 検査方法は、内視鏡、CT検査、X線検査、超音波検査などです。



## 気になる症状がある時は医療機関を受診する

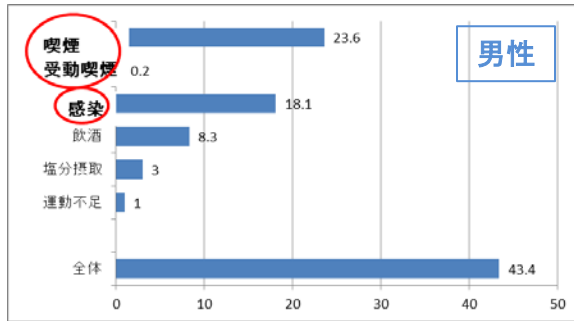
現在、気になる症状がある場合は、検診を待たずに、すぐに医療機関を受診して、診断のための適切な検査を受けてください。

## がんになりにくくするために

男性の場合、最も大きな原因は喫煙、次いで感染です。

女性は感染が原因の1位です。

日本人におけるがんの原因



## ○たばこは吸わない・他人のたばこの煙(受動喫煙)を避ける

タバコを吸う人は吸わない人に比べて何らかのがんになるリスクが約1.5倍高まることがわかっています。受動喫煙でも肺がんや乳がんのリスクは高くなります。禁煙はがん予防の大きく、確実な一歩です。

## ○感染症の検査を受ける

一度は肝炎ウイルス、ピロリ菌の検査を受けましょう。感染している場合は医師と相談し、治療するかどうか決めましょう。

## ウイルスや細菌の感染が原因となるがんの種類

ウイルス・細菌	がんの種類
B型・C型肝炎ウイルス	肝細胞がん
ヘリコバクターピロリ菌	胃がん
ヒトパピローマウイルス (HPV)	子宮頸がん

## ○HPVワクチンを受ける

子宮頸がんの多くはHPVワクチンで予防できます。

小学校6年～高校1年相当の女子は定期接種対象です。



みんなで知ろうHPVプロジェクト みんなパピ!

厚生労働省 HP「ヒトパピローマウイルス感染症」



# がん検診は職域、市町住民検診、人間ドックなどで受けられる

## 職域検診

定期健診、特定健診等と併せてがん検診が受けられる場合があります。

職域の健康診断に、がん検診が含まれているか、検診内容を確認してください。

## 市町の住民検診

対象の年齢の人はどこでも受診可能です。

検診の内容や受け方は、お住まいの市町のがん検診担当課、広報誌などでご確認ください。

## 検診機関・病院での人間ドック

対象：どなたでも

ご自分で検診機関を選びたい方は人間ドック等でごがん検診を受診してください。

## 滋賀県内市町のがん検診 問い合わせ先

大津市 健康推進課 077-528-2748 	甲賀市 すこやか支援課 0748-69-2168 	竜王町 健康推進課 0748-58-1006 	多賀町 福祉保健課 0749-48-8115 
草津市 健康増進課 077-561-2323 	湖南市 健康政策課 0748-72-4008 	彦根市 健康推進課 0749-24-0816 	長浜市 健康推進課 0749-65-7759 
守山市 すこやか生活課 077-581-0201 	近江八幡市 健康推進課 0748-33-4252 	愛荘町 健康推進課 0749-42-4887 	米原市 健康づくり課 0749-53-5125 
栗東市 健康増進課 077-554-6100 	東近江市 健康推進課 0748-23-5050 	豊郷町 医療保険課 0749-35-8117 	高島市 健康推進課 0740-25-8078 
野洲市 健康推進課 077-588-1788 	日野町 福祉保健課 0748-52-6574 	甲良町 保健福祉課 0749-38-3314 	2025.5.1現在の情報です。

参考資料：国立がん研究センターがん情報サービス

2025年4月作成

### 滋賀県がん対策推進運動実行委員会

滋賀県がん患者団体連絡協議会、一般社団法人滋賀県医師会、滋賀県がん診療連携協議会、中外製薬株式会社、アフラック生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、朝日生命保険相互会社、住友生命保険相互会社、日本生命保険相互会社、大樹生命保険株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社滋賀銀行、びわ湖放送株式会社、滋賀県

事務局：公益財団法人滋賀県健康づくり財団内 TEL 077-536-5210 FAX 077-536-5211